

次世代に誇れる持続可能な社会を！



●
撮
影
／
畑

全国路面電車サミット特集

☆☆活動報告☆☆

- 11月9日 臨時理事会
- 11日 福井市まちづくり交歓会
- 16～18日 全国路面電車サミット（大阪・堺）
- 19日 第1回 NPO等と行政との福井地域交流
- 20日 第2回 NPO等と行政との福井地域交流

☆☆今後の予定☆☆

- 11月25日（日） 福井市環境展
- 12月19日（水） 月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

商店街はなぜ減びるのか (副題) 社会・政治・経済史から探る再生の道 新雅史 光文社新書740円+税

昭和30年代以降に生まれた私たちにとって、商店街は当たり前にある物であった。車社会になる前は、特に政府のてこ入れがなくても繁栄していたと思っている。しかし、筆者によると、戦後農業の効率化により生じた余剰労働力吸収の為、商店街は人為的に保護されて成立してきたし、街を存続させるのではなく、家単位で既得権を保護した為、後継者がいなくなると減びざるを得なかったという。

確かにそういう要素もあるが、郊外の大規模店舗に移動できる車を持たない消費者が一定程度いる間は商店街は残る。実際、東京の駅前はまだまだ商店街が残っている。筆者の言いたいことも一理あるが、後継者がいない店舗は需要のある店舗に貸し出されたり売り出されたりする。

車社会・郊外の大規模店舗といった商店街衰退の大きな潮流を知った上で、大規模店舗が規制されてきた経緯等勉強するにはいい本であるが、最後の方の商店街を残す為の提案はあまり説得力があるとは思えない。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第11回全国路面電車サミット2012 大阪・堺大会

大会宣言

昨年3月11日の東日本大震災は戦後の成長文明に大きな警鐘を鳴らしました。一方でエネルギー環境問題の顕在化、急速な超少子高齢化社会の進展は、過度のクルマ社会から公共交通優先のまちづくりへの早急な転換を求めています。

クルマの利用がいくら便利な地域であっても路面電車など公共交通の必要性は揺らぎません。都市の成長と暮らしを考え、公共交通の将来のあり方やクルマのあるべき使い方を再認識しようという動きも全国各地で起きています。

しかし、現実には、クルマ社会の拡大は中心市街地の衰退を招き、クルマを利用しない、できない人たちにとって、日常生活そのものに支障を来し、買い物難民という言葉すら使われるようになってきています。また、今はクルマを日常的に使う人でも、気が付いたら買い物難民となっている時代もそう先ではありません。

環境負荷が小さく、人にもやさしい乗り物である路面電車は、これまで多くの人々の生活と関わり合いながら存在してきました。私たちはこれからも、これら路面電車を、鉄道、バス、自転車そしてクルマとの連携を深めながら活かすことで、人と環境にやさしい、希望に満ちた地域社会を未来へとつなげていかなければならないと感じています。

路面電車など公共交通を活かしたまちづくりは、一部の力だけでは実現しません。国による様々な支援施策が実施されてはいますが、公共交通網は年々、縮小しているのが実情であり、地域の活力を奪っています。この取り組みは、行政、事業者、利用者がお互いの立場を理解しつつ、三位一体の活動を続けてこそ果実を得るものです。

今大会の開催地で運行する阪堺電車阪堺線は地域の力と全国からの支援で存続することとなりましたが、その一方、存続の危機が叫ばれている地域公共交通は各地で枚挙にいとまはありません。効率的な経営が求められることはもちろんですが、事業の収支のみが論議され、その路線が地域に果たす役割が十分に論議されていないという実態もあります。

本日、私たちは改めて、人と環境にやさしく、私たちの生活に欠くことのできない路面電車など公共交通の役割とその意義を再確認し、次世代に誇れる持続可能な社会的インフラとして活かしていくことを誓います。

2012年11月17日

全国路面電車愛好支援団体協議会

全国路面軌道連絡協議会

第11回全国路面電車サミット2012 大阪・堺大会 実行委員会

全国路面電車サミット大阪・堺大会に参加して

玉井 秀和

今月 16 日 全国路面電車サミット大阪大会に参加しました。私は仕事の都合上 16 日のみの参加になりました。当日は 内田会長 品川副会長 林博理事 私の 4 人で一緒に大阪に向かい大阪駅にて鳥居さんと合流して会場の住吉大社に行きました。大阪駅から環状線で天王寺に出て天王寺駅前から阪堺電車に乗車しました。私は日帰りなので 関西 1 ディパスを使いました。その企画切符は 敦賀から関西の乗車券で プラス堺・住吉まんぷくチケットがついてきます。天王寺駅では工事中のせいか阪堺電車の乗り場が大変わかりにくかったです。私は以前大阪に住んでいて 天王寺周辺もわかっているつもりでしたが 迷ってしまいました。大会での講演でも阪堺電車の現状について話がありましたが 乗り場の案内について 改善する点があると思います。

開始直前に会場について 清水事務局長 松原理事と合流しました。大会は 主催者 来賓挨拶の後 講演が 5 回あり 途中で弦楽 3 重奏があり 心がなごみました。講演 I では地域鉄道 路面電車の現状と支援制度について 講演 II では 公共交通と街づくりについて 講演 III では 阪堺電車について話がありました。その中で印象に残っている話は 阪堺線は 最盛期に比べて 9 割乗客が減っていて 存続の危機にたたされてからの 取り組みについて 参考に残りました。話は変わりますが 本大会は関連イベントが多く 地元での盛り上がりを感じました。そのような 地元あげての取り組みが 阪堺線の支えだと感じました。その後 休憩をはさみ 弦楽 3 重奏 講演 IV で 住吉大社の宮司さんより 鉄道の思い出の話し 次に 講演 V 天王寺動物園 100 年祭 なにわの日の取り組みについて 話があり 1 日目を終了しました。私は一日だけの参加でしたが 本大会においては 関連イベントが多く 夜も楽しめる内容でした。大阪ちん電バルというイベントがあり 地元飲食店の協力で お店を 3 件回って 2000 円のチケットが販売されていました。4 年前福井での大会と比較して 勉強になる内容もありました。関連イベントだけで 20 近くもあり福井では難しい部分もありました。今後 福井でのイベント時には 本大会での経験も参考にしたいと 感じました。



●撮影／内田

全国路面電車サミット 2012 大阪・堺大会に参加してきました！

はたみゆき

今回の全国路面電車サミットは、大阪・堺で開催されました。1 日目が大阪会場、2 日目が堺会場と、開催場所を変えての開催です。

《内容の濃い 1 日目！》

朝 9 時発のサンダーバードに乗りこみ…相変わらず(￣▽￣;) “公共交通とまちづくり” の話で盛り上がっちゃって、あっという間に大阪に到着していました。大阪駅から天王寺に移動し阪堺電車に乗るまでに道に迷いに迷ったあげく、何とか 13 時ギリギリで会場入りしました。(天王寺駅では工事中+案内が殆ど出ていない状況)

さあ、ババーン！ これが 1 日目の会場となった「住吉大社吉祥殿」です。サミット会場のお隣では本物の結婚式が行われており、どちらも厳かな雰囲気が進められました。



△住吉大社 吉祥殿の全景



△住吉大社 吉祥殿の入口

大変立派な会場で開催されたのですが、会場に圧倒されることなく、午後から始まったシンポジウムも豪華な内容でした。まず、沿線市区の首長さんや来賓の方が大勢出席されて、「お〜っ」という感じで圧倒されっぱなし、講演内容も盛りだくさんで忙しい時間を過ごしました。また、期間中の関連イベントも盛りだくさんで、おもてなしの仕方がハンパではありませんでした。(ありがとうございます。)

★前半戦：沿線区長さんや関係者の方の挨拶やアピールに始まり、講演が 3 本（国土交通省鉄道局 地域鉄道支援室 宮田室長、国土交通省都市局 街路交通施設課 河野整備室長、堺市狭間副市長）

★後半戦：弦楽 3 重奏にうっとりした後、講演が 2 本（住吉大社高井宮司、大阪市教育委員会[前浪波区長]浅野総務部長）



△関連イベントの PR



△大会関係者と沿線区長さん



△弦楽 3 重奏

《盛りだくさんの2日目！》

2日目は美濃部さんと合流し、午前中は愛好支援団体協議会や事業者の活動報告や代表者会議が開かれ、ROBAは、ほんの少し5分程度の近況報告をしました。(出番はここだけ) 代表者会議っていつもこんな感じのかな～会場に人が入りきれないくらいの人数になっていて、会場内も雰囲気も「ワイワイ ガヤガヤ？」という感じで午前の部が終わりました。(盛り上がったってことです。。)

[代表者会議で出た報告の一例]

- ・万葉線では赤いトラムの1台を青色に塗り替えてドラエもん電車を来年8月までの1年限定で運行
- ・広島電鉄では、電車開業100周年事業の一環として、ドルトムントから引退した電車を広電本社の隣地に置いてレストラン電車始めた。
- ・長崎電鉄では、2年前に運賃を100円から120円に値上げ、赤字になってから支援でなく、黒字のうちに支援していく方向。また新幹線駅への乗り入れはルート変更や投資がネックで断念した。
- ・横浜にLRTを走らせる会からは、横浜市はLRTに関して積極的な検討を行ってもらえないと報告があった。みなとみらい線の建設を4キロ4千億円で整備したために、軌道を新たに整備して影響を与えたくないとの事である。また、みなとみらい地区に日産本社があり、現市長が日産のトップセールスレディだったことも、もしかして関連するのかな？ということだった。

午後からは、

★前半戦：講演が3本と(通天閣株西山氏、ビジネスコンサルのヴァンソン藤井由美氏、鉄道ジャーナリスト史絵、氏)大阪府住みます芸人span!の特別トーク

★後半戦：パネルディスカッション(宇都宮浄人氏・服部重敬氏のミニ講演会付き)



△大会挨拶



△宇都宮さんのミニ講演



△パネルディスカッション

☆おまけ…

1日目の夜はみんなで夜遊びに出かけました。南海電鉄の浜寺公園駅の建築物(明治時代に建設)を見学し、本場大阪のお好み焼きや広島焼きを食べ、ちいさな喫茶店に押し入って福井の鉄道について熱く語らい夜が更けていきました。帰福の際、駅では、な・なんと！千と千尋の神隠しに登場するカオナシに出会いました。まとめると、お客様で参加するサミットはこんなにも楽で楽しいのか(^-^)とみんなで楽しく帰ってきました。



△阪堺電鉄 浜寺駅前の掲示板



△阪堺電鉄車内にて



△南海高野線堺東駅構内にて

第11回全国路面電車サミット大阪・堺大会参加報告

鳥居 健

サミット初日の11/16(金)、地元バス会社の売上に少しでも貢献しようと福井駅東口から京福高速バスを利用し、サンダーバード12号利用の皆様(内田、畑、清水、林博、玉井)とはJR大阪駅で合流しました。さて、会場(住吉大社吉祥殿)に向かうため、早速路面電車(阪堺電気軌道)を利用することになりますが、JR天王寺駅から阪堺の電停に移動する際に、恥ずかしながら道に迷ってしまいました。京都に住んでいた頃天王寺駅周辺は何度も来ていて土地勘があったため、地上に出れば電停の場所はすぐにわかると甘く考えていましたが、地下通路からしか行けない構造に驚いた次第です。地下街の案内表示も不十分でしたが、皮肉にも今回、JRの駅と路面電車の電停が離れていると乗り換えがスムーズに行かず極めて不便であることを、身をもって体験してしまいました。



2日目午前中の代表者会議では、福井と同様の計画(軌道のJR駅前への延伸)を検討されている高岡や、市電環状線化を検討されている札幌の事例紹介が印象的でした。どの団体も、負担が少なく大きい効果が得られるアイデアを常日頃考えておられる姿勢が実感できて参考になりました。

空き時間(初日の講演終了後と2日目の朝)には、今回の参加メンバーが集まり、普段じっくり議論できない内容についても、納得行くまで本音で話し合うことが出来ました。ホテルの朝食場所で話し声が大きすぎるとスタッフから注意される一幕もありましたが、大変有意義な2日間でした。

なお、2日目午後は代表者会議終了後京都に移動し、大学の恩師の還暦祝賀会に出席した後、そのまま福井に戻りました。宴席では勤務先の名刺だけでなくROBAの名刺も渡して会の活動をさりげなくアピールしていたところ、富山市在住の先輩が2年前に路面電車サミットが開催されたことを覚えておられ、またポートラムやセントラムを導入された森市長の政策を素晴らしいと評価していただきました。このように公共交通や路面電車に関心を持っていただく方が増えているのは嬉しいことです。

次回2年後のサミットでは、福井でも駅前ヒゲ線延伸や田原町での相互直通運転等の成果を堂々とアピールできる状態になりたいものです。

第11回全国路面電車サミット大阪・堺大会に参加して

内田佳次

平成24年11月16日(金)~18日(日)の3日間の開催で行われました第11回全国路面電車サミットに参加しました。16日~17日の2日間の参加です。1日目は大阪住吉大社の吉祥殿という格式のある会場です。これまでのサミット会場としては異例と言えます。ここ住吉大社は大阪では「すみよっさん」と言われ昔から慕われているスポットであるようだ。阪堺電車の歴史とともに住吉神社は切っても切れない関係にあります。

すかさず、記念切符「堺おもてなしチケット」を購入(480円)これで阪堺電車は乗り放題だ。翌日は堺市の総合福祉会館で、市民向け、愛好支援団体や軌道事業者向けの内容となっています。恒例の団体毎に5分ごとの現状報告とアピールを行いました。

第9回サミットを開催したROBAとしては企画や運営がとても気になりましたが、関連の団体や組織が運営に参画していて、商業者や行政、市民の地域全体が一体となって運営しているのがわかり阪堺電車と地域の結びつきの強さも感じ取れました。

なお、サミット期間中の関連イベントは19種類にも上り、とても消化しきれないほどの数でした。

また、次回開催は会議中には決定は見なかったのですが、17日の懇親会会場で講演をされた鉄道ジャーナリスト「史絵」さん(<http://ameblo.jp/shie-rail/>)中心に東京で開催すべく準備することが決定されました。2年後が楽しみです！

スタッフとして企画・運営の中心となって活躍された松原さん、大変お疲れ様でした。地域活性化の一助となった良い大会だと思いました。

第11回全国路面電車サミット2012 大阪・堺大会に参加して

林 博

高齢社会の交通まちづくりにとって、高齢者が街に気軽に出てこられる交通システムをつくることだけでなく、高齢者をやさしく迎えてくれるまちづくりを作り上げることが必要であり、それには街なかのみんなですべてを作り上げていかなければならないということを再認識させられたサミットであった。

2日目の『ストラスプールのまちづくり』著者のヴァンソン藤井由実氏の講演では、LRTとまちづくりの原点を再確認できた。しっかりとした都市政策としての公共交通施策が重要な役割を果たしたという点については、福井も「都市交通戦略」というしっかりとした施策を作っており、着実に実行していけばよいところまで来ている。コンサルタシオンという地元との話し合いについては、福井ではまだまだ不十分と言わざるを得ないのではないだろうか。地元商店街は本当にどんなサービスを提供したいのか、どうやって商売を引き継いでいきたいのか、本心を聞きだしていないように思える。少なくとも私は、反対の屁理屈はたくさん聞いてきたが、本音は聞いたことがない。

初日の堺市副市長の狭間恵三子氏の講演では、観光分野のプロとして、まちなかで人を迎え入れるためのたくさんのサービスを提供している、いろいろな施設をつなぐだけでなく、街なかの全体で連携してサービスを行っていることなど、まちづくりの原点を再確認できた。全国路面電車サミットといういたってマイナーなイベントでさえ、有効に活用してまちづくりを進めるために、コンベンションビューローが地元商店に「バル」をやりたいと協力を依頼して回ったようで、夜にみんなで議論した「キッサ伊勢」という40年も続く小さな店にもパンフレットが置かれていて、店長に勧められたのには驚いた。





作/漆寄 耕次

照ちゃんの気になる風景 part33



自転車通勤のルートにあった「町屋のタブノキ」が11月19日に消えた。バス停と会社の間にあり、この大樹の日陰が、夏の日差しを避けて涼むのにちょうど良かったのですがとても残念です。福井新聞（2012. 11. 17）によりますと1970年に福井市文化財（天然記念物）に指定され、クスノキ科で樹齢は400年ほどらしい。

今までネグラにしていた野鳥や昆虫、野良猫の皆さん ゴメンナサイネ！

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「全国路面電車サミット大阪・堺大会に参加して、大阪の地域のパワー、観光・人寄せに対するエネルギーの強さを実感しました。これでないとは商売はできん！」

林（変集長）

「あなたは、政党名を全部言えますか？」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBA）

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>